

同窓会便り

(発行人)
太西 道祥

同窓会総会開催！

第六十三回の総会が、五月十八日プラザホテル板倉にて開催された。佐藤校長、佐藤事務長ご臨席の中、同窓生三十七名が出席。会長挨拶の後、校長より挨拶をいただいた後、昨年の生徒進路状況、部活動等々の報告がなされました。引き続き会長が議長となり和気藹々のなか議事進行し、次の議案が審議された。

一、事業報告、決算報告、監査報告
二、事業計画と予算案

1、学校林、修練道場視察
2、同窓のゆうべ実行委員会構成の件
3、HP開設の件
4、開校70年への取り組みについて
三、その他

事業別に報告がなされたあと今年度の事業計画の審議にはいる。昨年度実施した同窓会林及び修練道場への訪問事業は今年度は中止し来年度の実施とする。昨年来の懸案のHPの開設は本校のサバーに便乗させてもらい早急に開設をする。今年度も同窓会便りを「ゆうべ」の券の販売時にあわせて発行する。又、今年の同窓のゆうべは末尾「九期」で構成する。

開校七十年への取り組みについては諸事業の案内を発送する必要性があることから同窓会名簿の発行事業等から取り組む。協賛会の立ち上げは秋以降に行うことになりそう。又、深川市開基百年に併せて行った記念植樹のユリノキの件の対応。同窓のタベの決算内容についての参考意見の発言等、他にも貴重な提言、意見をありがとうございます。

同期会情報

△旧中一期▽八十三歳からの年齢になり札幌中心で時々近況報告とか旅行会を有志で開催。

△旧中二期▽（旧制深中2期会）
平成十四年を最後に同期全員の開催を取りやめとしたが2、3年ごとに有志で開催。

△旧中三期▽（旧制深中3期同期会）
毎年開催。昨年は9月25札幌にて相集う。昨年は記念誌を制作。今年も札幌にて開催予定

△旧中四期▽（旧制深中4期生）
平成十五年の中島武敏元代議士を囲んで同期会

△旧中五期▽（旧制深中5期会）
毎年開催。15年鎌倉16年函館。17年札幌18年美唄

第八号

発行 2006.09.09

平成 17 年度収支決算書		
自・17・4・1から至18・3・31		
収入の部		
前期繰越金	371,701	
入 会 金	226,500	1500 × 151 名
雑 収 入	7,001	利息・他
合 計	605,202	

支出の部		
総会及事業費	301,530	総会 75,000
会 議 費	19,530	役員会実行委員会
交 際 費	78,528	別記
通信事務費	8,000	
雑 費	3,570	
合 計	411,158	

繰越 194,044
< 交際費 > 支部総会 10,000 歓送迎会他 20,000
餞別 45,000 慶弔費 3,528
< 事業費 > パネル 84,000 林見学 30,660 吹奏楽
生徒食事・楽器運搬 99,600

△一期▽

平成6年岩見沢市、7年滝川市、8年幌新温泉一泊、9年箱根・東京2泊、10年深川市、11年定山深温泉、12年滝川、13年岩見沢、14年深川、15年札幌、16年滝川、17年札幌。昨年を最後に中断

△二期▽

（旧深中7期同期会）
毎年秋に開催。東京、札幌、深川持ち回り。12年は卒業五十年で札幌、13年はホテル館、14年は東京、15年は札幌、16年は深川、昨年、今年は？

△三期▽

東京は毎年開催。札幌は随時開催

△四期▽

（深川西校第4期生同期会）
札幌が中心になって毎年開催しています。十六年札幌は六月、東京・四葉会は一月に開催。十七年は六月札幌、今年も開催予定。

△五期▽

不定期開催

△六期▽

（西高29会）
深川組は毎年同期で旅行実施。札幌勢は年に6回集まり、東京勢は年一回集まる。

△七期▽

（深西7期同期会）
3年毎に旭川、深川、札幌と持ち回りで開催している。十四年深川で開催、板倉に六十人参加。十七年は50周年を札幌にて八月二六日開催五十人参加。満田・津田先生出席す。

△八期▽

不定期開催。

△九期▽

10年深川・12年旭川・14年札幌・16年北竜18年東京

△十期▽

5年に1回の開催
十五年6月に45周年記念で北広島で開催。

△十一期▽

十二年八月還暦記念を深川で開催、十六年は八月二十日札幌70名。今年十月十三日深川で開催予定

△十二期▽

（西高35年卒同期会）
十三年秋、還暦同期会を開催した。参加58名十八年開催予定。

△十三期▽

（三六会・サボロウ会）
H十年HP開設 ML（倉山昭男）
<http://www2.big.or.jp/~yycclub/>
<http://www.egroups.co.jp/group/36KAI>
十四年還暦記念同期会を開催。六月板倉

△十四期▽

十六年五月一日還暦同期会を開催。深川ホテル

△十五期▽

（深西38会）
5年毎に開催している。十年は11月、十五年は札幌で開催。十七年十月九日開催。十九年にも開催予定

△十六期▽

（深川西高16期卒業同期会）
5年毎に開催。十一年から三年毎の開催にしました。

△十七期▽

（高17期同期会）
十二年に板倉、十七年8月15日板倉で開催。四年に一回

△十八期▽

（猪子会・いのね会）
十七年九月札幌にて開催60名。次回は19年深川にて開催予定。東京は毎年開催。

△十九期▽

（深川西高19期卒業同期会）
5年に一回の開催。17年旭岳のふもと湧駒別温泉で開催登山も兼ねた。

△二十期▽

（深川西高第20期同期会）
四年に一回の開催でやっています。十二年六十名参加。（深川ホテル）16年は八月に開催した。

△二十一期▽

十四年八月。久しぶりの開催です。今年8月12日盛会のうちに開催した

△二十二期▽

十二年卒後三十年で開催。参加60名（日の出）

同窓のタベ 報告

第一回	平成八年八月十四日	参加三五〇余人
第二回	平成九年八月十四日	参加二〇〇余人
第三回	平成十一年九月十八日	参加二〇〇余人
第四回	平成十二年九月九日	参加一七六名
第五回	平成十三年九月八日	参加一五五名
第六回	平成十四年九月七日	参加二〇〇余人
第七回	平成十五年九月十一日	参加二〇〇余人
第八回	平成十六年九月十一日	参加二〇〇余人
第九回	平成十七年九月十六日	参加一八〇余人

△二十三期▽

十三年八月に三十年を記念して札幌にて開催。出席者八十余名。

△二十四期▽

十四年札幌、十六年六月深川（日の出）にて開催35名
十七年六月札幌にて連続開催

△二十五期▽

十四年11月に札幌にて開催 70名参加

△二十六期▽

（49年卒業同期会）
16年は卒業三十年で9月18札幌にて開催、百名参加

△二十七期▽

十六年一月二日開催し74名参加

△二十八期▽

三回目となる同期会を十七年八月十三日板倉にて開催。百名を超える参加あり。

△三十一期▽

卒業二十年十一年に深川で開催。百十名

△三十四期▽

卒業二十年十四年に深川で開催。

△三五期▽

卒業十五年を十年に深川で開催。

△三六期▽

（深川西高36回生同期会）
十六年二十年で二月二日板倉99名参加

△三七期▽

十四年開催 板倉

△三九期▽

十三年二月 日の出会館で開催 参加、四十四名

事務局では記載の期以外は把握して居ません。きっと開催しているところもあるのだらうと思います。各期の協力者を探し支援を頂きながらそれぞれの期の動向が今以上に判明すればより充実した便りになるのですが、又、それぞれの期の幹事の方には最新の情報を届けて頂ければありがたいと思います。同窓のタベの実行委員会がきっかけで同期会を開催したところもあるようです。

今年度の教職員の動向

△転出者▽

吉田 仁教頭 恵庭南高校

水崎 利光先生 退職

板谷 奈美先生 新採合格

渡邊 晃事務主任 美唄高校

△退職者▽

森浦 俊之先生

【離任者大送別会報告】

平成16年3月24日 プラザ富士屋
今回は転出・退職者5名となりました。PTA、同窓会等から饗別の贈呈が行われ、PTA大西会長の惜別の言葉と励まし言葉が述べられた後、乾杯の音頭で祝宴に入る。惜別の思いが交錯し酔いも高まる中、大西同窓会長の締めで離任者諸兄の前途を祈念する。全員で校歌を高らかに合唱する中、惜別の宴は終了した。

【大歓迎会】

平成十七年四月十五日 日の出会館
△転入者▽

- 武田 英俊教頭（社会）
- 宮野 俊二先生（数学）
- 林 正司（事務主任）
- 高橋 良和先生（理科）

各種大会結果報告

今回は別添で成績表をつけました。そちらを参考にしてください。

- 陸上部 ○ バレー部 ○ 卓球部
- 硬式テニス部 ○ ソフトテニス部
- バトミントン部 ○ サッカー部
- バスケット部 ○ 柔道部 ○ 剣道部
- 弓道部 ○ 野球部
- 山岳部 地味に活動中
- ラグビー部 ○ スキー部 休部

外局・文化活動状況

△外局▽

吹奏楽局 合同チャリティコンサートや市内のイベント等に参加、好評を得ています。外に向かつて活動中です。
放送局 少数精鋭で活動中
新聞会 部員が集まらず苦戦ながらも活動中
図書局 地道に活動中
応援団 随時組織

△部活動▽

美術部 相変わらず少数精鋭。女性ばかりで男子不在。今年は7月23日に部員と有志で市内の空き店舗でのシャッターペイントを行いました。明るく楽しいできあがりです。市内での評判は上々です。

- 英語部 休部
- 弁論部 休部
- 科学部 少ないながらも健闘中
- 茶華道部 前期が華道、後期は茶道
- 演劇部 休部
- 写真部 根強い人気で頑張ってます。女性ばかりで男子はどこだ。

学校林見学・湧雲の白樺・今年度の現状

見本林・修練道場跡訪問（十七年度事業）

昨年度を最後とする予定で十七年六月十九日開催した。今年度は行わないことは総会で決定。近年は隔年開催してきたが参加は少なくこの辺が見切り時か。参加希望者はいるのでしようがその方にながなたどり着かない。一人一人に声をかけてあげればいいのでしようが各期幹事にお願いをしているのが現状で申しこみをどうするか問題・・・。一部の参加者からは毎年続けて開催して欲しいとの要望は出ては居るのですが、再参加者は数人。ただ、参加した人は全員満足して理解をして頂いています。特に山菜の恵みと湧雲の白樺は圧巻です。学校林の中に散歩道を作るのも一案かとも思いますが・・・はてさて！

又、修練道場跡地の石積みの角に生えている白樺の木は当時はなかったものですが今はすっかり大きくなり石垣にかみついて居ます。年月の重みを語る歴史の証人です。事務局としては会員のみなさんが突然ボツと来ても現地が分かるように看板は立てていますし、草刈り等の整備も行っています。是非行って見てください。

特別会計 平成17年

収入の部		
前期繰越金	3,553,600	
地代	73,100	深川スキー場
雑収入	37,508	利息他
合計	3,664,208	
支出の部		
税金	20,101	17年度固定資産税
整備費	0	学校林整備
保険料		森林国営保険
雑費	7,254	振込料他
予備費		
合計	27,355	
次期繰越金 3,636,853		
内訳 <雑収入> 森林組合助成金 36,946		

同窓のタベ 開催予告

「同窓のタベ」は今年の九月九日（土曜日）に開催をする事に決定しました。プラザホテル板倉です。多勢の参加を楽しみにしています。実行委員会は九期、十九期、二十九期、三十九期、四十九期が担当です。実行委員長は九期の倉嶋克郎先輩です。

旭川支部総会報告

- 第一回 五十三年一八〇名
- 第二回 五十五年一二二名
- 第三回 六十二年一一六名
- 第四回 平成十三年一二〇名

小樽支部

支部長・秋山義昭氏（高十三） 現在二十二名

東京支部総会開催

（ ）内は卒業回

第十六回総会は平成十七年開催、現役員は左記の通り。総会は四五年（22）・四六年（23）卒業期が担当しました。

- | | |
|------------------|---------------|
| 支部長・草原 克豪（1012） | 鈴木 大吉（7） |
| 副支部長・堀口 正顕（1410） | 越智 真琴（19） |
| 幹事長・玄番 英臣（1114） | 林 興一（2019） |
| 副幹事長・関 肇（1622） | 花岡 裕之（2322） |
| 幹事・松尾 薫（2016） | 真鍋 整充（2322） |
| 幹事・米重 忠（2220） | 熊谷 昭明（10） |
| 監査・中村 欣也（2723） | 相談役・村中 末隆（旧三） |
| 相談役・富原 一郎（2） | 外岡 敏幸（旧五） |

第十七回総会は十九年度の予定で当番期は四十九年（24）・五十年（25）卒業期となっています。

滝川北斗会総会開催

第四十三回の滝川支部総会が開催された。毎年定期的で開催されていてなかなか盛会。会長出席。平成十八年一月二〇日・滝川、三浦華園にて。会員七十三名で出席十五名でした。

学校行事終わりました。

△コーラス大会▽

長い歴史の積み重ねは新しい感動の積み重ねでもあります。50回コーラス大会が5月24日開催されました。当時18歳の同窓生が今は68歳になっているわけで、なるほど大変なことだと思います。今年は節目の50年ということで記念にCDを作成しました。その中の解説文を紹介します。

コーラス大会 50年の歩み

コーラス大会の歴史をたどると二つの源に達する。一つは、開校二十周年記念誌によると昭和26年頃の校歌作成計画にさかのぼる。校歌作成は大変な仕事であつたらしく、生徒会は校歌作成委員会を組織し、学校・PTA・生徒会が一体となって引き継がれていった。昭和26・27年の2年にわたって歌詞も曲も生徒の手で作り上げ、皆で歌おうと取り組んだ。この時校歌はできずにまいに終わつたが、昭和29年2月頃佳作として選ばれた『深川西高学生の歌』（作詞は当時の3年生）と後に校歌に昇格

した『生徒会の歌』を作成した。

二編の作曲を手掛けたのは、当時本校在職の教諭であつた。今もこの曲は共感と情熱を持って歌い継がれている。もう一つの源流は『学生の歌』成立の数年前から「読書会」を設けるなど多彩な活動を行っていた。昭和29年5月発足の「あゆみ会」が中心となつた「うたごえ運動」にある。明治図書『学園自治の旗』によると、「昼休みや放課後、校庭で青春歌集記載の明るい健康的な歌を輪になって歌う」と記されている。やがてそれが全校コーラスになり、毎年全HR出場の合唱コンクールとして行事に定着していった。『学生の歌』成立と、「あゆみ会」発足とはほぼ同時期であり、この二つの出来事がきっかけとなつてここにコーラス大会が誕生した。このように歌声の輪が自然な形で広がることで、西高コーラス大会は生まれ、行事に繰り入れられたと思われる。

昭和31年、第一回コーラスコンクールが生活委員会（今の厚生委員会）によって音楽室で開催された。昭和32年（第二回目）以後は学芸委員会の担当となつたが、しばらくの間HR対抗の名譽を懸け団結を競う場であつた。担任教諭も含めたHRのまとまり、練習の参加姿勢に苦慮し、合唱の出来映えに一喜一憂し勝敗に涙する様子が毎年、合唱の出来映えに一喜一憂し勝敗に涙する様子が意識の低下による問題に直面し、生徒会活動の立て直しをはかるため、自主性と自治意識の高揚を目指した行事の質的向上、上級生の指導力の強化、各HR、連合内の団結力の強化への取り組みが開始された。

昭和53年、自由曲二曲制をやめ学年課題曲を導入。各学年270名によるコーラス実現で感動を呼んだ。昭和54年、会場を市民会館に移す。立派な施設で行う事は、やる気高め、引き締まった気持ちにさせ行事を充実させた。昭和55年、ハレルヤコーラスを3学年の課題曲とする。原語で歌うというこの難曲をどのクラスもよくこなした。

昭和56年、3学年課題曲は前年と同曲とし、内容の一層の充実を狙った。成果はこの年西校が当番校とする全道演劇大会で三学年と音楽部による「300名のハレルヤ」として参加者に好評を得た。昭和57年、従来のHR毎の発表を一部改め、連合課題曲を導入し縦割りによる連合コーラスとHR1曲の現在の形式となつた。これにより各連合における上級生の指導力、連合の団結力の真価が問われるようになった。連合課題曲の導入により全校コーラス（800名）が実現し、HRの勝敗を乗り越え感動的なフィナーレをかざっている。

平成9年、伝統的な西校の三大会行事であるコーラス大会を廃止するという大きな提案が生徒会執行部からなされた。42年間受け継がれてきた伝統的行事が危機的な状況に陥ることになった。提案の理由としては、みんなで歌うということが時代の流れと共に薄れ始め、「やる気がない」「充実しない」という悪魔の方程式が完成し、多くの生徒が嫌気をさしたためである。そこで全校生徒参加の「コーラス大会廃止のためのアンケート」と全校討論会を実施し、集会では活発な意見が出た。この討論会はとても充実したものとなった。当時の3年生の大多数がコーラス大会廃止の提案に反対し、2年生の会長は「コーラス大会とは何か、行事・生徒会とは何のためにあるのか」など、生徒会の根本を考え悩んだ。結論としては「やっぱり行事、生徒会は生徒のためにある」という結論に達する。最終的にこの提案は否決となる。「今後、どうしたらやる気になるか、充実するか」と、どんな時も前向きに考えることが必要であると当時の生徒会長は言つて

いる。この年の合唱コンクールは、ギターを使った演奏なども行われた。平成12年、連合曲が同じものに統一され、各連合の特色がよく見えるようになった。平成14年、合唱コンクールを5月に実施したため、前期中間試験や高体連集約大会が間近であるという過密なスケジュールから練習期間の短縮になり、生徒にはより効率的な仕上げを求められた。平成15年、市民会館改築のため、本校体育館を会場として開催した。例年より狭い会場だった拍手子をするクラス、真面目に歌うクラスなど個性が表れていた。平成16年、文化交流ホール「み・らい」が完成し、新しく設備の整った会場で歌声を響かせ、今年の50周年を迎える現在に至っている。

会に、「コーラス大会のあゆみ」を再確認し、今後とも伝統的な深西の三大打事の一つとして受け継がれていく欲しい。

CD作成委員 2年3組 北山晴香

「み・らい」で開催。感動の中に終ることが出来ました。近年は父兄も聞きにきています。来年、機会のある方は是非どうぞ。最後の全員の全校コーラスは同窓生としても是非とも聞いてみたいものです。又、同窓のタへの会場で記念CDをカンパ付きで提供しています。是非、在校生を応援してあげてください。

△同窓会入会式▽

二月二十八日、講堂にて。過去一四、五〇三名に今回新たに一五一名（男子六七名、女子八四名）が入会しました。大西会長の挨拶に引き続き卒業記念のCDの贈呈後全員入会しました。溝口幹事長より現在の同窓会の活動を説明。

△卒業式▽

三月一日 第59回卒業式が挙行される。大西会長より一五一名の卒業生に「旅立つ後輩へ」と励ましの言葉を贈った。後輩はそれぞれ希望を胸に秘め力強く式場を後にした。未来は君達の為にある。頑張れ！

△学校祭▽

第57回の学校祭が七月八日～九日に開催されました。今年は「Live Strong」
～夢と希望へいざ挑む～ がテーマでした。

学校祭は演劇と行灯とバザーが主な行事です。1年から3年までの組別の縦の連合で争われます。このことにより先輩と後輩の結びつきが強くなるのは伝統的なもので、部活動以外でこのような機会があることが素晴らしいですね。行灯は組別で12クラスで争われます。演劇は二日間に渡って開催され中身の濃い上演が展開します。生徒会企画の軽いのりの時間と吹奏楽の演奏は欠かせません。展示は美術と写真が主で昔のようなクラブ展示は

ありません。昔と違って休みで土曜日はないし、放課後の自由度も制約がありゆとりがありそうでないのが実情です。バザーのメニューは19種類でした。

佐藤 拓校長の一言を添えて・・・青春の炎を燃やし、生き抜く力を！でした。

フアイヤーストーム今昔・・・

時代背景から、昔とは違った問題を抱えながらも夏の夜空に熱き思いをたぎらせています。様々な制約がかかっている昔出来た事も今は出来ないことが多い。校舎に近接する住宅への配慮から火の粉の問題が大きい。ストームの火の手が大きくならないように常に水をかけて調整している。騒音も迷惑にならないよう終了時間の短縮。行灯についてはダイオキシンの問題から何でも燃やせない。昔はストームへの投げ込みを競い、燃やして舞いあがる火の粉に歓声を上げたものでしたが、今はわずかな部品を教師が受け取りストームに投げ込むというもので、昔を知るものにとって物足りなさを感じますが致し方ありません。残った行灯は翌日細かく分別解体して処理業者に廃棄してもらいます。この処理にも費用がかかります。他にも色々制約があるようですがその時代に合わせ在校生は精一杯三大打事を楽しんでいるようです。今年は行灯の審査員を同窓会で行いました。

平成十七年度分卒業生の進路概況

進学	国公立大学	九名	国公立短大	二名
	私立大学	二五名	私立短大	二十名
	専修各種	五八名	高専准看	十二名
就職	民間	九名	公務員	二名
	その他	十四名		

△学校の現状▽

▽二年に分けて校舎の大規模改修工事がおこなわれていましたが終了しました。昭和五十八年改築以来二十年余を経過し、老朽化は進み雨漏りや傷みが目立つため昨年までの工事となった。十六年度は外壁の補修及び塗装と屋上の防水の補修と一部改修が行われ十七年度はボイラー配管改修、電気関係改修、建具の改修工事で校舎の内部作業でした。

▽総会でも問題となった深川市開基百年で行った記念植樹のユリノキの件は次のような顛末となった。

記念植樹当時のユリノキは5本。西側に植えたのですが、昔のテニスコートの後で炭ガラが入っていて土壌が悪いのと除雪で雪が多い。又、寒すぎる冬の風が通り抜けて凍害を起こし枯れてしまったため補植するも同じ結果となり東側に移動したのだが、その際別の木を補植したという。この木がニオイドロ（芽や若葉にはほのかな香気が漂う）であった。以前の母校のグラウンドの回りはドロの木に囲まれていて懐かしさもあり、これはこれでいいのだけれど木のそばに設置してある記念のプレートにはユリノキの説明がついて現物と違うことは問題なのでユリノキを別途植樹することとした。その際風にやられぬ

ような場所に植樹することに配慮する旨を確認した。

▽これを機に、緑豊かな校庭の長期展望にたった植樹の必要性を検討することとなる。ここ数年間の相次ぐ強風で白樺や桜等の老齢木は幸い人的被害や建物に対する被害はなかったものの相次いで倒木となり、中には近隣住宅への被害も予想されることから年度別に順次更新していく作業が必要となりました。道道の通行車両からの騒音や夏の日照からの緩和、精神的、視覚的にも緑豊かな教育環境が必要です。校歌の歌詞には「正義に白き白樺は 自由の空にそりたつ」と歌われ欠かせない樹木ですが、現在は補植もしていないようですので行くはなくなりそうです。現状把握も含め今後は計画的に母校の教育環境の整備に努めたいと思います。

△開校70年にむけて▽

平成20年に母校は開校七十年を迎えます。より良い節目を迎えるために、今年中には協賛会が立ち上がりそうです。が、記念事業や趣意書等の案内をするためには名簿の整備が不可欠です。今年の総会で同窓会の事業として名簿の編纂について審議され発行することが議決されました。近年個人情報保護法のからみもあって名簿の発行も色々と制約もありますが、個人の意志を最優先にして掲載、不掲載を決定し60年時と同じ「氏名」「住所」「勤務先」のみの名簿とすることで決定しました。各期の幹事のみなさんには各期で判明している名簿の提供をお願いしたいと思います。

同窓会現役員紹介

○ 会 長	大西 道祥	(17)	
○ 副 会 長	渡辺 一義	(6)	引地紀代子
	濱田 靖夫	(17)	成田 昭彦
	寺岡 義人	(22)	(1811)
○ 幹 事 長	溝口 信義	(11)	
○ 副 幹 事 長	山森世津子	(19)	入江 国弥
	吉田登美雄	(17)	成田 雅敏
	大西 祥太	(17)	(2812)
○ 会 計 幹 事	今村 釐弘	(2)	畑 博善
○ 監 事	林 正衛	(2)	板倉 克宏
○ 相 談 役	平 通明	(旧一)	利波 清一
	津田 恭衛	(旧五)	(旧三)
○ 校 内 幹 事	吉田登美雄	田中 直美	青井 克典
	広瀬 直美	高島 章展	

どろやなぎ（編集後記）

さて、「同窓のゆうべ」の前売券の配布時に併せて同時発行していた同窓会便りは今年度は遅れて発行となってしまいました。申し訳なく思います。間に合わずに同窓のタへの会場で配布となりました。

今号は情報が多いため紙面がオーバー。面倒なので2枚として発行しました。ちょっと雑な作りになりました

がお待ち願いたい。紙面の組み方も毎年同じで変化がない。イラストレーターのソフトでも使ったらもう少しいい紙面になるかと挑戦しましたが挫折しそうです。相変わらず同じレイアウトで情報だけを入れ替えているのが現状です。同窓の動向や在校生の活躍が幾らかでも同窓生に伝わればいいのですが・・・

▽各期の動向や支部の動きにもっと力を注ぎたいと思っていますが毎日の時間の進み方が早いのでなかなか十分対応ができないのが残念です。事務局のあり方を再検討して情報収集につとめたいと思っています。開催内容や状況について気がついた方は左記事務局連絡先まで情報をお寄せ下さい。

▽今年は昨年以上に暑い夏でした。6月は日照不足だったため今年は異常気象だと言っていた人も居ましたがとんでもないことです。勝手な解釈をして自分に心地よい気候以外を異常気象と決めつけることは問題です。以前にも書きましたが世界最高峰のエベレストから貝の化石が出てくるんですから多少の事には驚かないことです。

▽駒大苫小牧高校が3年連続で決勝戦に進出しました。元気のよい北海道にあつて素晴らしい出来事でした。

我が深川西高校野球部も春・夏と全道大会に出場しました。惜しくも甲子園には行けませんでした。がそれなりに暑い夏でもありました。テニスは全道3位。弓道では十月の国体で上中君が出場します。やっぱり明るく元気なのがいいなあ。

▽旧制中学3回生の先輩達が十年前に「俺の登音」と題した文集を発行したのですが、昨年はさらにその後の「俺の登音」を発刊しました。素晴らしいことですね。後に続いてくれることを夢見て居ます。

ただ、これらの書籍等の収集が少なく同窓の部屋の開設まで至っていないのが残念です。多くの先輩が各分野で活躍した足跡を同窓の部屋に収蔵することができたら・・・と思うて居ますが、いつになったら実現することやら。

▽深川西高校は北海道の高体連・陸上の第1回の優勝高校として燦然と輝いています。常勝深川西高校当時の関係先輩には前北海道の体協会副会長の故・鈴木伊佐夫氏（3回生）岩手県陸上競技会長の久保勝美氏（1回生）がいます。今回のタベに久保先輩がはるばる参加してくれました。（参考までに紙面の最後に当時の新聞記事をコピーしました。あまりに古くて判読が難しいので打ち直しはしてみました・・・）

西高校の紹介ネット

http://ubtoma.sphere.ne.jp/

現在登録者四〇〇名

是非登録して同窓の輪を広げましょう

同窓会連絡先 074-0011

深川市緑町一番五号 溝口信義

TEL- 0164 - 22 - 4543

事務局 e-mail : mizonobu@nifty.com